

54. 福島大学附属幼稚園へのりんごジュースとりんごの送付

(学外対応分)

実施時期又は期間

平成23年 7月中旬 りんごジュース送付
平成23年12月中旬 りんご送付

対応部局及び人員

附属幼稚園の教職員，保護者，園児 等

実施の背景・目的

放射線量が高いため外での活動ができず，大きなストレスを抱えて生活を送っている福島大学附属幼稚園の園児を元気づけるため，支援を申し出たところ，福島の保護者から「子どもたちにりんごを食べせたい」という要望があったため。

実施概要

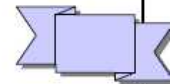
保護者に募金及びりんごジュースの寄附を呼びかけ，7月にりんごジュース300本を送付した。12月には年長組園児が描いた絵やメッセージ入りの紙袋と一緒に，取れたてのりんご約700個（段ボール16箱）を送付した。

効果又は結果

福島大学附属幼稚園園児等に喜んでもらえ，陸奥新報や福島民報にその様子が掲載された。

担当部局名

教育学部附属幼稚園



園児に友情のリンゴ

弘前大から福島大へ付属同士の縁
 福島市の福島大付属一島大付属幼稚園を支援したいと、弘前大付属幼稚園からリンゴ約七百個が贈られ、園児らが贈った。リンゴを持ち帰る際に使った紙袋も一箱に贈られた。
 園児は、その場でもふりとかじりつき、おいしそうに頬張っていた。浜島京子福島大付属幼稚園長は「全国の幼稚園から支援をいただき感謝しています」と話し、子どもたちも喜んでいました。



リンゴにかぶりつく園児



福島大付属幼稚園に贈るリンゴを詰める園児たち

リンゴ食べ元気出して

附属幼稚園が福島の幼稚園へ贈呈

弘前

箱詰めや紙袋を製作

弘前大学教育学部附属幼稚園（肥田野豊園長）は、交流のある福島県の福島大学教育学部附属幼稚園へ「元気づけよう」として思いを込めた。弘大附属幼稚園では、福島県で被災した園児や保護者を支援しようと、6月にリンゴジュースを贈った。当時は準備できなかった取れたてのリンゴを贈りたという同園関係者の声を受けて今回、保護者に協力を呼び掛けたところ、約720個のリンゴと義援金1万3000円が集まった。小山あいちちゃん（6）は「おいしく食べて元気になってほしい」と話した。

（福田藍全）

〈陸奥新報掲載記事〉

〈福島民報掲載記事〉